



まきび進路だより

令和6年9月13日発行
岡山県立倉敷まきび支援学校
進路指導係

◎アフターケアについて

本校では、前年度卒業生の定着支援を目的に、5～6月に進路係、夏季休業中に旧担任教員等で「アフターケア」を行っています。各進路先への訪問の中で、「作業が難しい時にどうやってうまくできるかを近くの従業員に質問できている」という成長した姿について進路先の方からお聞きしたり、「初任給で家族にごちそうしました」と充実した表情で教えてくれる卒業生の話を聞いたりすることができました。また、「貯金はできているけど使い道がない」とつぶやく卒業生もいました。仕事のやりがい人は人それぞれですが、「〇〇が欲しい」や「〇〇に行きたい」などの欲求も、働くモチベーションに大きく関わると思います。在学中から色々なものを見る、聞く、体験するといった余暇活動の充実により、徐々に働く目的が見え始め、それが卒業後の生活を支えていく一つの要素となっていくこともあるのだと改めて考えました。



訪問の様子

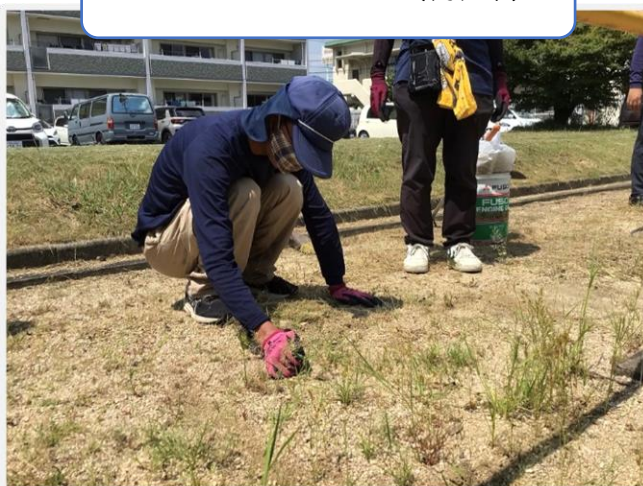
のぞみ（総社市）



みんな農園（倉敷市）



わくわくハンド・ベル（総社市）



「毎日問題なく勤務できていますか」

「何か気になられることはありますか」など



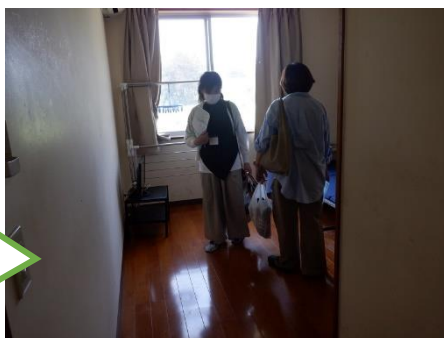
卒業生本人や職場の方とお話をする中で、卒業後の成長や課題を共有します。必要に応じて、関係機関とも情報を共有し、今後の支援について検討します。

◎PTA 事業所見学に行ってきました

9月6日（金）にPTA 事業所見学を行いました。地域型実習でお世話になっている日の丸タクシーさんのバスを使って、30名の保護者と2名の教員で行ってきました。

午前中は、真備町にある社会福祉法人三穂の園の住倉ドリームガーデン真備を訪問しました。敷地内にある、「住倉箭田作業所」（就労継続支援B型（以下「B型」と称する）、生活介護）と「第2ドリームガーデン」（生活介護）、グループホーム住倉を見学させていただきました。日中活動の場では、生産活動や創作活動など、利用される方に合わせた活動が提供されていました。

グループホームの空き部屋を見学させていただきました。ここで生活しながら、敷地内のB型や生活介護を利用されている方も多くおられるそうです。



昼食場所の「CHALLENGED（チャレンジド）」は、B型の「倉敷夢工房」に併設されたレストランです（倉敷市新田）。利用者さんがレストランでの接客や、レストラン裏の事業所でパンや菓子類製造や軽作業に携わっています。

パスタとビュッフェを堪能しながら、学部を越えた保護者同士の会話により充実した時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

ソフトクリームもおいしかったですね！

心も胃袋も満たされ、午後は早島町にある一般企業のカトーレック株式会社の岡山支社を訪問しました。ここでは、各メーカーから届いたパンを配達先の店舗毎のかごに仕分ける業務が行われています。パンや店舗の名称を覚える必要がなく、かご毎に設置された液晶パネルに表示される通りに仕分けていくというシステムになっており、作業内容が分かりやすく働きやすい環境だと感じました。



参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。右のQRコードは今回の訪問先のホームページです。参加できなかった保護者の皆様もぜひご覧ください。

住倉学園



倉敷夢工房



カトーレック

